



南小だより



学校教育目標 自信をもち 自分の力を発揮する子

あけましておめでとうございます

正月になると、必ず思い出すことがあります。今から25年ほど前に自分が受けた恩について。それは、以下のような出来事。

正月、私と妻はまだ3歳くらいだった娘を連れて、妻の実家(静岡市田町)に行った。3人で市街に買い物に出かけた帰り、駅からバスに乗ったのだが、あいにくの混雑で座ることができず、私が娘を抱いて、妻と2人で立っていた。

すると、目の前にいた2人の女子高生がやにわに席を立ち、「どうぞ」と席を譲ってくれた。道徳の教科書に出てくるようなことが、自分の身に起こったことが何だか信じられないまま、お礼を言って座らせてもらった。



目的の停留所に停まり、降りがけに何度も頭を下げ礼を言い、バスから降りた。

妻と2人で、とても幸せな気持ちになった。

たいしたことじゃないかもしれませんが、その日私は2つのことを心に決めたのでした。

- 1 電車やバスに乗ったら、いつでも席を譲れるように心の準備をしておこう。
- 2 人から恩を受けたら、必ず「ありがとう」と伝えよう。そして、その恩を返そう。できなかったときは別の方に送ろう。

今日の始業式では、子どもたちに「ありがとうの気持ちを口に出そう」と伝えました。「感謝の気持ちをもって生活するだけではなく、行動で表してほしい」ということを。

本年も、本校への変わらぬ御支援をお願いいたします。

(校長 杉山豊和)

*毎日の学校生活の様子を「小笠南小ニュース」で紹介しています。

是非、御覧ください。

(<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/ogasaminami/news.html>)

